

# 学生と市民のための 社会文化研究 ハンドブック

社会文化学会 編



晃洋書房

- 1章 生存権・社会権の保障と社会文化
- 2章 地域づくりから捉える社会文化
- 3章 生きるための社会文化
- 4章 メディア文化と社会文化
- 5章 芸術文化運動が生み出す社会文化
- 6章 市民運動が紡ぐ社会文化
- 7章 「社会文化」の研究

日々の生活と社会の  
問題をつなぐ「文化」とは

学問を超える学問研究へ。  
学際的な社会文化研究を世に問うてきた学会メンバーが集結  
した、市民と学生のための研究ハンドブック。  
私たち一人ひとりが社会をつくる。担い手として、意識的・  
自覚的に人間関係を取り結ぶ文化がいま求められている。  
そうした「社会文化」の視角から生活実践の現場に迫る一冊。  
ゼミや卒論指導などにも最適。

## 学生と市民のための社会文化研究ハンドブック

社会文化学会 編

ISBN 978-4-7710-3279-8 A5・144ページ 定価 本体1,500円＋税



■書店での注文の場合は、下記注文カードにて最寄りの書店までご注文ください。

注文カード	貴店印	晃洋書房 〒615-0026 京都市右京区西院北矢掛町7番地 TEL.075-312-0788 Fax.075-312-7447	
	注文日 月 日	書名 学生と市民のための社会文化研究ハンドブック 社会文化学会 編 ISBN:978-4-7710-3279-8 C3036 定価:(本体1500円+税) A5製 144頁	注文数 冊
		●お名前	電話
		●ご住所 〒	

# 学生と市民のための社会文化研究ハンドブック 目次

## まえがき

### 序章 生活と社会をつなぐ「社会文化」(池谷壽夫)

#### 1章 生存権・社会権の保障と社会文化

- (1) 生存権・社会権の保障と社会文化(中西新太郎)
- (2) 生存権としての労働とジェンダー(池谷江理子)
- (3) 「障害」のある人の生存と社会文化(林美輝)
- (4) 生存権としての教育と社会文化(早坂めぐみ)
- (5) 「承認をめぐる闘争」としての社会文化(赤石憲昭)

コラム①:高齢者問題(黒田慶子)

コラム②:LGBT(茂木輝順)

コラム③:人種主義とジェンダーの「交差性」(熊本理抄)

コラム④:学校外の学びの場(田中佑弥)

#### 2章 地域づくりから捉える社会文化

- (1) 「地域づくり活動」が注目される社会的背景(中俣保志)
- (2) 「地域づくり活動」の新たな課題(中俣保志)
- (3) 生活課題と地域づくり(小木曾洋司)
- (4) 農山村の地域づくりに向けた視座(中川秀一)
- (5) 教育と地域づくり(中俣保志)
- (6) 地域アート活動と地域づくり(山田康彦)

コラム①:団地という「住まい」のゆくえ(三宅正伸)

コラム②:「地域通貨」(黒田慶子)

コラム③:生協(小木曾洋司)

コラム④:京都社会文化センターの活動(三宅正伸)

コラム⑤:コミュニティ概念再考(大関雅弘)

#### 3章 生きるための社会文化

- (1) 不安定な時代を生きぬく若者たちの模索(豊泉周治)
- (2) 若者の居場所づくりと文化活動(滝口克典)
- (3) 生きるための労働文化と共同の力(天池洋介)
- (4) 生きていく場をつくる若者ソーシャルワーク(南出吉祥)
- (5) 育児文化とジェンダー役割分業(加野泉)

コラム①:全国こども福祉センター:福祉や支援を問い続けて(荒井和樹)

コラム②:スクールソーシャルワーク:教育/福祉で「包摂」を目指す(土屋佳子)

コラム③:地域でつながる高校生(平野和弘)

#### 4章 メディア文化と社会文化

- (1) 出版の公共性と商業出版(清原悠)
- (2) 「ミニコミ」というメディア(平野泉)
- (3) マンガ表現を共有する場(小山昌宏)
- (4) アニメ表現:社会文化の視点から(木村智哉)
- (5) メディア化するインターネット空間(小山昌宏)
- (6) ジェンダーとメディア(熊谷滋子)

コラム①:アニメ制作の現場(木村智哉)

コラム②:ジン(Zine)(村上潔)

コラム③:メディアと文化再生産(平石貴士)

#### 5章 芸術文化運動が生み出す社会文化

- (1) 社会文化運動としての芸術文化運動(山田康彦)
- (2) 芸術文化運動が導く社会文化(清真人)
- (3) 日本の芸術文化運動としての民藝運動(吉田正岳)
- (4) 社会改革に関与する芸術文化運動(狩野愛)
- (5) 日本の文化政策にみる社会包摂と社会文化(藤野一夫)

コラム①:地域を場に展開する芸術文化を中心とした社会文化活動(畔柳千尋)

コラム②:アーティストと社会をつなぐ(中西美穂)

#### 6章 市民運動が紡ぐ社会文化

- (1) 戦後社会と市民運動(和田悠)
- (2) 市民運動の記録と運動経験の継承(山崎雅子)
- (3) 社会・市民運動とアーカイブス(平野泉)
- (4) 3・11後の市民運動と社会(清原悠)

コラム①:まちのアーカイブ(中俣保志)

コラム②:「運動」の媒体としての写真(小屋敷琢己)

コラム③:震災の記録と記憶(松井克浩)

#### 7章 「社会文化」の研究

- (1) 「社会文化」という概念(大関雅弘)
- (2) 社会文化研究の進め方(大関雅弘)
- (3) 社会文化のフィールドワーク(南出吉祥)
- (4) 地域史研究のすすめ(三原容子)
- (5) ドイツにおける社会文化(池谷壽夫)
- (6) 韓国の社会文化(桔川純子)
- (7) アメリカの市民運動の現在(日暮雅夫)

コラム①:社会的連帯経済(小西洋平)

コラム②:ネオリベラリズム的統治技法(藤田博文)

コラム③:社会文化学会(池谷壽夫)

文献一覧 / あとがき / 執筆者一覧